

赤目四十八瀧心中未遂 (2003)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 159分
初公開日 2003/10/25
公開情報 赤目製作所
映倫 R-18

【キャッチコピー】

この世の外へ連れてって

合掌

殺されるかもしれないと思った
死んでもいいと思っていた
だからこそ――

【解説】

車谷長吉の直木賞受賞作『赤目四十八瀧心中未遂』に惚れ込んだ荒戸源次郎が自らメガフォンを取り映画化したドラマ。生きる目的を失った男が、運命の女性と出会い彼女に導かれて死地の旅へと向かうさまを幻想的かつ濃密に描く。主演は新人の大西滝次郎とこれが映画初主演の寺島しのぶ。共演に、大楠道代と内田裕也。

生島与一は人生に絶望し、この世に自分の居場所はないと思い定め、ここ尼崎に流れ着いた。焼鳥屋の女主人・勢子ねえさんに古いアパートの一室を世話された与一は、来る日も来る日もそこでひたすらに臍物を捌き、串にモツを刺して暮らしていた。そんな与一の前に、ある日、同じアパートに住む女・綾が現われる。綾に惹かれた与一は、綾によって至福の時を味わう。やがて、綾の“この世の外へ連れてって”というひと言に誘われて死出の旅路へと向かい、赤目四十八瀧を登っていくのだった…。

【クレジット】

監督 荒戸源次郎

製作 河津秋敏

石川富康

村山治

橘秀仁

プロデューサー 村岡伸一郎

協力プロデューサー 林海象 Kaizo Hayashi

福原稔浩

原作 車谷長吉

『赤目四十八瀧心中未遂』（文藝春秋刊）

脚本 鈴木棟也

撮影 笠松則通

美術 金勝浩一

編集 奥原好幸

音楽 千野秀一

照明	石田健司	
録音	柿澤潔	
出演	大西滝次郎	生島与一
	寺島しのぶ	綾
	新井浩文	犀
	大楽源太	真田
	大森南朋	業
	榎田貴斗	晋平
	大村琥珀	眠り猫
	沖山秀子	辻姫
	内田春菊	娼婦
	絵沢萌子	売女
	牧口元美	父巡礼
	上杉幸子	母巡礼
	森下能幸	爺公
	金子清文	山根
	秋山道男	出痔亀
	鷹赤兒	蝦の頭
	渡辺謙作	三白眼
	赤井英和	新世界
	大楠道代	岸田勢子
	内田裕也	彫眉